

講義科目名称：特別演習Ⅰ

授業コード：

授業科目の区分等：専門科目 演習

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1 年	2	必修
担当教員			
渋上 勇次郎			

授業のねらい（概要）	現代の経済学は、資本主義的市場経済がいわゆる ICT 革命やグローバル化の進展のなかで新たな展開を見せることにより、たんに経済の領域にとどまらない学際的な諸問題を多く抱えるようになった。そうしたアクチュアルな諸問題を院生諸君の研究課題とも対応させながら、現状分析的な視角から取り上げ明らかにしていく。 その中で院生各自の修士論文の作成に向けた指導も丁寧に行っていく。		
授業計画	前期前半	現代の経済理論／「市場メカニズム」の特性に関連して（7回） 予習：指定テキストの該当箇所を読んで問題意識を深める（毎回、120分以上） 復習：学習内容の確認（毎回、120分以上）	
	前期後半	現代の経済理論／公共経済、資源環境問題など（8回） 予習：指定テキストの該当箇所を読んで問題意識を深める（毎回、120分以上） 復習：学習内容の確認（毎回、120分以上）	
	後期前半	現代経済の諸問題／日本経済、地域経済の諸問題など（7回） 予習：指定テキストの該当箇所を読んで問題意識を深める（毎回、120分以上） 復習：学習内容の確認（毎回、120分以上）	
	後期後半	現代経済の諸問題／国際経済や経済成長、情報社会など（8回） 予習：指定テキストの該当箇所を読んで問題意識を深める（毎回、120分以上） 復習：学習内容の確認（毎回、120分以上）	
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	この授業では、本大学院のDPに基づき「実践的な問題解決能力及び管理運営能力を養い、知識基盤社会を支える高度で知的な教養」「高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を養い、文化の進展に寄与することができる」能力を身に付ける。		
到達目標	1経済学及びその関連事項について専門的な理解を深めること。 2修士論文の作成に向けて取り組むこと。（修論は特別演習Ⅱにおいて完成する）		
課題や小テスト等のフィードバックの方法	課題レポートは授業中にコメントする。		
履修上の注意	自己の研究課題と関連させて、常に経済時事問題全般に関心を持つこと。		
成績評価の方法・基準	①授業中の報告内容（80%） ②討論への参加姿勢など学習意欲（20%）		
教科書	授業中に指定する		
参考書・教材	【参考書】授業中に紹介する。【教材】授業中に配付する。		
備考	演習科目		
教員との連絡方法	メールによる（アドレスは授業で案内する）。		